

お〜い

月刊
No. 100
平成22年(2010.3)

「お〜い」編集委員会
品川区西大井 4-1-8
大井第三地域センター内
☎ 3773-2000

祝 100号!

昭和61年3月15日(1)

お〜い

昭和61年3月15日発行 創刊号
編集 大井第三地域センター編集室
品川区西大井4-1-8 電話 773-2000

「お〜い」は、品川区の地域生活の発展を目的として創刊された月刊誌です。地域生活の発展を目的として創刊された月刊誌です。地域生活の発展を目的として創刊された月刊誌です。

我が町

品川区の地域生活の発展を目的として創刊された月刊誌です。地域生活の発展を目的として創刊された月刊誌です。地域生活の発展を目的として創刊された月刊誌です。

学校参観

品川区の地域生活の発展を目的として創刊された月刊誌です。地域生活の発展を目的として創刊された月刊誌です。地域生活の発展を目的として創刊された月刊誌です。

昭和61年3月15日(2)

大井町 開業

品川区の地域生活の発展を目的として創刊された月刊誌です。地域生活の発展を目的として創刊された月刊誌です。地域生活の発展を目的として創刊された月刊誌です。

お〜い

品川区の地域生活の発展を目的として創刊された月刊誌です。地域生活の発展を目的として創刊された月刊誌です。地域生活の発展を目的として創刊された月刊誌です。

昭和61年3月15日に第1号が発行されて以来、地域の皆様に生まれ、おかげさまで100号を迎えました。創刊号を掲載させていただきましたが、当時は手書きで校正なども、大変な苦労があったのではないかと同時に編集委員の情熱を感じます。それから24年間、地域や学校PTAの方々で構成された編集委員でバトンを受け継ぎ今日に至りました。昨年11月号から毎月発行になり、紙面も少し変わりましたが、私たちも皆様に楽しく読んでいただける紙面づくりに、気持ちも新たにこれからも頑張っております。

創刊から現在までの編集委員の皆様、ご苦労様でした。そしてありがとうございました。
(倉本 記)

町めぐり こんじちは大井庚塚町会です

「お〜い」100号を迎えるとのこと大変なことと思います。継続は力なり！と言いますがこれからも地域のため頑張ってください。「お〜い」編集委員の皆さんには頭が下がります。大井庚塚町会は昨年4月に新しい会館が出来上がり「絵手紙教室」が始まりました。その他多くの方々に利用していただきたく準備をしています。会館が情報発信の場になればと思っております。大井庚塚町会は将来を見据えて今出来ることを行っていきます。資源物の回収、防犯灯の設置、子ども・高齢者の自動車・自転車等との交通事故を防ぐためのミラー設置、交通標識がよく見えるよう木葉の伐採、電柱の交通標識の不備の整備等を実施してまいります。要援護支援についてはまだまだです。区の名簿が毎年更新すること、班長が毎年変わることで、区の名簿以外に多くの方がいらっしゃる等ありますが毎年、繰り返し、繰り返し実行してゆきたいと思っています。大井庚塚町会は約1,400世帯、約3,000人が暮らしています。75才以上が500名近く、成人式を迎えた人が30名弱いらっしゃいます。これらを踏まえて、民生委員、地区委員、健康推進委員等の方々の力を借りて役員の方と共に住みやすいそして安心安全な町作りの一助になればと思っております。大井庚塚町会が地域活動の拠点になり会員のための町会になるよう一歩前に踏み出していきます。ぜひ応援して下さい。
(大井庚塚町会会長 榎本 記)

第10回品川区中学生の主張大会、最優秀 受賞おめでとう!!

去る平成21年12月5日(土)、きゅりあん小ホールにて行われた『第10回品川区中学生の主張大会』に、富士見台中学校を代表して9年生の林良玖(いむきよんみん)さんが参加しました。発表の演題は『ユニセフリーダー講座に行って』というもので、夏休みに参加したユニセフリーダー講座で見たものや出会った人から学んだこと、そこから自分なりに考えたことを、落ち着いて話すことができていました。「人は置かれている環境に流されてしまう。当たり前が叫ばない現実を知り、1秒1秒を大切に生きよう。」という主張が心に響く、素晴らしい発表でした。



緊張の中迎えた結果発表。結果はなんと最優秀賞！ 富士見台中学校初の快挙に、思わず壇上の林さんと目を見合わせ、驚いてしまいました。講評では、「自らの体験を通じてテーマへの理解を深めており、説得力がある。」との評価を頂きました。

進路関係で大変な中がんばってくれた林さん、素晴らしい発表をありがとうございました！
(富士見台中学校教諭 岩瀬 記)

おじゃまします!



～ウクレレグループ「シイセブン」～
週2回、練習場から「カイマナヒラ」や「青い山脈」などの曲が流れてくる。

平成17年、ウクレレ好きが集まり結成された。会員数は、50～70代の10人。その1人は「ウクレレは手軽で自分で歌いながら楽しめる。が、奥は深い」と目を輝かす。昨年師走の取材時には、クリスマスソングを合奏して楽しんでいた。

レパトリーはハワイアンから歌謡曲、童謡まで幅広い。シルバーセンターなどで演奏するボランティア活動が評価され、区は昨秋、地域貢献団体として感謝状を贈った。

写真は、その式典で演奏とフラダンスを披露し拍手を浴びた時の光景だ。

◎シイセブン会長 井原利一

連絡先 黒岩 03-3768-3734

練習場 大井第三地域センター

練習日 第1・3木曜日13時～16時

会費 月1,000円

(古賀 記)



豆知識 花粉症と対策

花粉症は人の免疫力が低下すると、飛来する花粉と、体内で異物に対して作られる抗体がヒスタミン、ロイコトリエン等の神経刺激物等を生み出し、それが目のかゆみ、涙、充血、くしゃみ、鼻水、鼻づまり、喉の痛み、咳等の症状を起こすそうです。以下に対策です。



- 1) 免疫力を高めるのが基本で、規則正しい生活、十分な睡眠、ストレスの排除が良い。
- 2) 医療機関でなんの花粉に反応するのかを、調べて貰い、その花粉飛散の開始前から予防的に抗ヒスタミン剤等を投与して貰う。症状が出てしまっても各種投薬を受けられる。
- 3) 食品による花粉症の改善 ①ヨーグルトは整腸作用が免疫力を改善(特にL-92株が目目されているとのこと) ②ポリフェノールを含む食品は抗ヒスタミン、抗ロイコトリエン作用があると言われる(しそ、ふき、ミント、カテキン茶、テン茶) ③納豆に含まれる分解酵素が花粉症を改善、炎症粘膜の修復を早めると言う ④その他、ワサビ、キノコ類、かき茶、カリン
- 4) アロマテラピー、つば療法、整体、ヨガ等でも改善すると言われている。(小林 記)

しなQ

品川区の花は何でしょうか?

- ① ハナミズキ ② サクラ
③ サツキ ④ ヒマワリ

正解は次号で(伊澤 記)



前号の正解 品川区の「毎月第一日曜日」 ②家庭の日

近隣施設ご案内

平成22年3月

伊藤幼稚園 3775-8028 西大井 5-22-8	* 未就園児交流会はお休みです
滝王子児童センター 3771-3885 大井 5-19-14	* ベビーマッサージ 8日(月) 10:30～11:30 * リユースマーケット 9日(火) 11:00～12:00 * ティーンズフェスティバル 21日(日) 13:00～16:00 会場 きゅりあん小ホール・イベントホール
キッズ館いとう 3771-1311 西大井 6-13-1	* ファミリー子育て体験事業(保育園内) 5日、12日、19日(金) 10:00～ * 母親講座・ママブラザ 15日(月) 10:30～ * エコまつり(不用品交換会) 20日(土) 10:30～
大井図書館 3777-7151 大井 5-19-14	1. 定例休館日 : 1日(月) 15日(月) 2. 館内整理日 : 11日(木) 3. おはなし会 : 毎週水曜日 午後3時～ 4. 雑誌リサイクル : 13日(土) 午前9時～ 5. 開館時間 : 火曜日～土曜日 午前9時～午後8時 日曜日・月曜日・祝日 午前9時～午後5時
ウェルカムセンター原交流施設 5742-4660 西大井 2-5-21	1. 申請受付時間 午前9時～午後4時 ※施設のご利用には団体登録が必要です。 2. 休館日 17日(水) 毎月第三水曜日 3. 開館時間 午前9時～午後9時 (夜間の利用がない場合は午後6時に閉館します) 4. 施設案内 多目的室(2室)、講習室(2室)、スポーツ室、グラウンド、交流サロン
西大井いきいきセンター 5718-1330 西大井 2-5-21	《ご利用案内》 1. ご利用できる方 ① 区内在住の60歳以上で利用券をお持ちの方。 ② 初めてご利用される方は住所と生年月日が確認できるものをお持ち下さい。利用券をおつくりします。 2. 休館日 日曜日および祝祭日 3. 入浴サービス 毎週水曜日および金曜日 正午～午後4時 《マッサージサービス》 ①日 時 25日(木) ②抽選日 18日(木) ※申込受付は1日(月)から17日(水)までです。 《グループ活動》 活動内容 ・カラオケ ・舞踊 ・詩吟 ・民謡 ・ウクレレ ・ダンス ・書道 ・墨絵 ・体操 ・俳句 ・民謡

古紙を配合した紙を使用しています